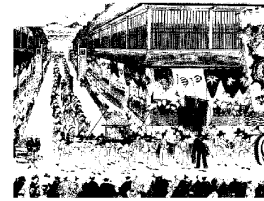


第 10 章	社会(歴史)	名前:	日 付	No.03
	江戸 1			

[問題 1]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右図は、徳川家康の時代に国交が回復した国からやって来た使節の様子である。この使節を何というか。
- (2) (1)の国との国交や貿易の拠点となった藩は何か。



[解答欄]

(1) 通信使	(2) 対馬藩
---------	---------

[解説]

朝鮮との国交と貿易: 対馬藩
↓
通信使 という使節

豊臣秀吉の朝鮮侵略の後、朝鮮との国交はとだえていたが、対馬藩のなかだちで、徳川家康のときに国交が回復した。その後、将軍が代わるごとに朝鮮から通信使という使節が訪れた。

対馬藩は朝鮮との国交の実務を担当するかわりに、朝鮮との貿易を許可されて、銀や銅を輸出し、朝鮮にんじん、木綿、絹などを輸入した。

[問題 2]

次の各問いに答えよ。

- (1) 薩摩藩は()を征服し、年貢米を取り立てるなど、きびしく監督をしたり、中国や東アジアとの貿易を幕府と薩摩藩の管理の下でつづけさせたりした。()に適語を入れよ。
- (2) ()藩は、蝦夷地での交易を独占し、アイヌが不利になるような交易を行って大きな利益を得た。()に適語を入れよ。
- (3) (2)の下線部に反対して、アイヌの指導者が幕府とくりひろげた戦いを何というか。

[解答欄]

(1) 琉球	(2) 松前	(3) シャクシャインの戦い
--------	--------	----------------

[解説]

琉球: 薩摩藩の支配下
蝦夷地: 松前藩がアイヌ人と取引
→ 暴利 → シャクシャインの戦い

17世紀の初め、琉球は薩摩藩に征服された。薩摩藩は、年貢米を取り立てるなど、きびしく監督をしたり、中国や東アジアとの貿易を、幕府と薩摩藩の管理の下でつづけさせたりして利益を得た。

蝦夷地にはアイヌ人が住んでいたが、蝦夷地南部に領地をもつ松前藩は、アイヌ人との取引を独占し暴利をむさぼっていた。これに対して、アイヌ人は17世紀の後半シャクシャインを指導者として戦いを起こした。松前藩は幕府に助けを求めて、ようやくこれをしずめた。

[問題 3]

次の各問いに答えなさい。

- (1) 18 世紀の初めごろに、日本の耕地面積は、豊臣秀吉のころにくらべて約 2 倍となりましたが、どのくらいあったでしょうか。次から選びなさい。

[約 30 万 ha 約 150 万 ha 約 300 万 ha 約 1500 万 ha]

- (2) 幕府や藩が新しく開発した耕地(水田)を何といいましたか。漢字 2 字で答えなさい。

[解答欄]

(1) 約 300 万 ha	(2) 新田
----------------	--------

[解説 1]

江戸時代初めの田畑面積は 164 万町歩、18 世紀初めの田畑面積は 297 万町歩である。

1 町歩は約 1ha である。

[解説 2]

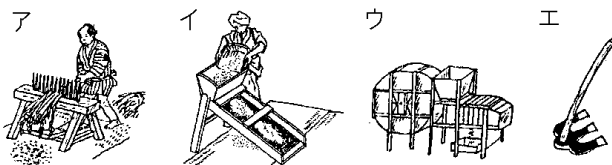
幕府や藩は土地の開墾に力を注いだ。大規模な用水路をつくって水を引き、荒地を開墾して田畑の面積を広げ、海や沼地を干拓したりして新田開発を行った。その結果、田畑の面積は安土・桃山時代のころから 100 年の間に約 2 倍になった。大規模な用水路建設を可能にしたのは、戦国時代から近世にかけての築城で使われた測量・掘削などの技術革新であった。

江戸時代初期

干拓などの新田開発
→ 耕地面積が約 2 倍

[問題 4]

次の説明に適する農具をア～エから、農具名を[]から 1 つずつ選べ。



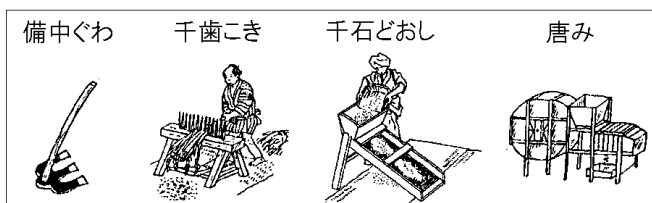
- ① 稲穂からもみをしごいてとる。
② 土を深くたがやせる。

[唐み 千石どおし 千歯こき 備中ぐわ]

[解答欄]

①ア、千歯こき	②エ、備中ぐわ
---------	---------

[解説]



江戸時代になって、備中ぐわ(土を深く耕すことを可能にした)、千歯こき(稲穂からもみをしごいてとる(脱穀))、千石どおし(米粒をふるいわける)、唐み(風を送りもみがらなどを取り去る)などの農具が発明され、農業技術が向上した。

[問題 5]

江戸時代の水産業について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 九十九里浜などで大規模な漁がおこなわれていましたが、その魚は何でしたか。
- (2) (1)の魚は加工されて何とよばれましたか。
- (3) (2)の加工品はどのような用途に用いられましたか。
- (4) (2)の加工品や「油かす」は何とよばれましたか。
- (5) 九十九里浜などでの大量漁獲を可能にした要因としてどういうことがあげられますか。
- (6) 蝦夷地の松前藩がアイヌの人々から米や鉄器などとの交換で得ていた海産物は次のどれですか。
すべて選びなさい。

[たい かつお こんぶ にしん くじら]

[解答欄]

(1) いわし	(2) 干鰯	(3) 肥料	(4) 金肥
(5) 網が改良されたこと。		(6) こんぶ、にしん	

[解説]

水産業では、**網が改良されて**大量漁獲が可能になった。九十九里浜(千葉県)では、このような網を使った大規模な**いわし漁**がおこなわれるようになった。いわしは**干鰯**という肥料に加工されて、近畿地方などの綿作地帯に売られた。干鰯や**油かす**などの新しい肥料は**金肥**(金のかかる肥料)とよばれた。蝦夷地では、**にしん漁**や**こんぶ漁**が発達し、南西海域では捕鯨やかつお漁が盛んになった。

網の改良→大量漁獲が可能に
九十九里浜:いわし→干鰯(金肥)
蝦夷地:こんぶ、にしん

[問題 6]

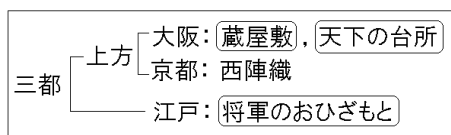
次の文の()に適語を入れよ。

将軍の城下町である(①)は「将軍のおひざもと」とよばれ、18世紀になると人口は約(②)人に達し、日本最大の都市になった。(③)は全国の流通・商業や金融の中心地として発展し、諸藩の年貢米・特産物の販売のために(④)が置かれ、(⑤)とよばれた。(⑥)は高級絹織物などの工芸品の発達した都市であった。

[解答欄]

①江戸	②100 万	③大阪	④蔵屋敷
⑤天下の台所	⑥京都		

[解説]



各地の大名は、**大阪**に**蔵屋敷**をおいて**年貢米**や特産品を大商人に売りさばかせ、藩の財政をまかなった。大阪は、全国の物資の集散地として栄えた商業都市で、「**天下の台所**」とよばれた。

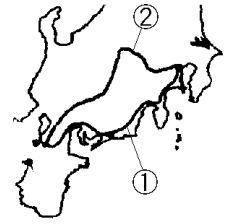
京都は**西陣織**という高級絹織物などの工芸品の発達した都市であった。大阪・京都を**上方**という。

江戸は「**将軍のおひざもと**」といわれ、人口は約 100 万人に達した。江戸、大阪、京都をあわせて**三都**とよんだ。

[問題 7]

次の各問いに答えよ。

- (1) 幕府は全国の交通路の整備を行い、江戸の日本橋を起点に()を定め、街道の途中には宿場を整備した。文中の()にあてはまる語句を書け。
- (2) 右の地図は、江戸時代に整備された(1)の街道を示したものである。地図中の①と②の街道名を書け。



[解答欄]

(1) 五街道	(2)① 東海道	② 中山道
---------	----------	-------

[解説]



全国的な陸上交通の整備は豊臣政権にはじまり、江戸幕府により完成された。
江戸を中心に東海道・中山道・甲州街道・日光街道・奥州街道の五街道が整備された。

[問題 8]

次の①、②にあてはまる人名を書け。

- ① 人形浄瑠璃の台本に、義理と人情の板ばさみになやむ男女の気持ちをえがいた人物。
- ② 浮世草子とよばれる小説で、町人の生活をえがいた人物。

[解答欄]

① 近松門左衛門	② 井原西鶴
----------	--------

[解説]

[元禄文化] 上方(大阪・京都)が中心

松尾芭蕉「奥の細道」

近松門左衛門 人形浄瑠璃の脚本

井原西鶴 浮世草子(小説)

菱川師宣「見返り美人」(浮世絵)

17 世紀末、五代将軍徳川綱吉の時代に、都市が繁栄し、京都・大阪などの上方を中心にした文化(元禄文化)が発達した。

各地を旅しながら俳諧を芸術の域まで高めたのは「奥の細道」で名高い松尾芭蕉である。近松門左衛門は人形浄瑠璃の台本に、義理と人情の板ばさみになやむ男女の気持ちを書いた。大阪の町人井原西鶴は、当時の世相や町人のくらしをありのままに浮世草子という小説に描いた。歌舞伎では、坂田藤十郎や市川団十郎らの名優が出た。菱川師宣は浮世絵の版画を始めた。その代表作は「見返り美人」である。